

「ご挨拶」

北見市長

小谷 每彦



北見の短い夏も終わりを告げ、秋の気配を身近に感じる季節となつてまいりました。「東京北見会」の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。こうして、東京北見会の総会が盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

東京北見会は、会員相互の交流の輪を大きく広げられるとともに、様々な機会を通じて「ふるさと交流」にも積極的に取り組まれております。この場をお借りして、役員並びに会員の皆様の熱意とご努力に深く敬意と感謝を申し上げる次第です。

本年3月11日の未曾有の被害をもたらした、東日本大震災の発生から既に半年以上が経過し、地震と津波により壊滅的な被害を受けた地域、それに加えて原子力発電所事故により故郷からの避難を余儀なくされている地域など、被災された方々の心中をご察し申し上げますとともに心よりお見舞い申し上げます。関東地方も例外ではなく、激しい揺れに襲われましたが、幸いなことに東京北見会の皆様に、お怪我などなかったと報告を受けております。北見市も被災地に向け様々な物資支援などを行っており、一日も早い復旧、

復興が待ち望まれているところであります。

さて、北見市では庁舎移転に関し一定程度の道筋が決まり、今年6月の「平成とん田兵」でお越しの際ご覧いただいた、昭和30年に建設された北見市庁舎は今年限りで取り壊される運びとなっており、段階的に移転を行い、現在は議会事務局を除いたすべてのセクションが仮庁舎へ移転完了したところであります。これまで長きにわたり北見市の歴史をずっと見守ってくれていた市庁舎が取り壊されることは大変残念であり感慨深いものがあります。

東京北見会におきましても昭和53年の創立以来、様々な活動で会員各々の絆を深めながら、日頃より「ふるさと北見」に対する皆様の心温まるご支援とご協力に深く感謝申し上げます、貴会の今後益々のご発展と本日ご参会の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



これで見納め。古い市庁舎



北見の塩やきそば